



## 自分に合った治療法を アレルギー性鼻炎

毎年春先になると、花粉症の話題が取り上げられるようになります。

花粉によるアレルギー症状を総称して花粉症といいますが、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの鼻の症状はアレルギー性鼻炎として治療されません。アレルギー性鼻炎は、花粉やほこりなどのアレルギー(原因物質)が鼻粘膜に付着することによって、アレルギー反応が起こり、ヒスタミンなどが放出されることで発症します。アレルギーの種類により、スギ、ヒノキ、カモガヤ、ブタクサなどの花粉に代表される季節性アレルギー性鼻炎と、ほこり、ダニ、ペットの毛などに代表される通年性アレルギー性鼻炎に分類されます。

治療法としては、まずはアレルギー性を体の中に取り込まないように予防することが大切です。



花粉の飛んでいる時期の外出的際にはマスクや眼鏡などの着用、帰宅時のうがいや洗顔、また室内のこまめな掃除が大切です。花粉が飛び出す時期の少し前から薬の服用を始める方法も症状を軽くする効果が期待できます。いったん症状が出てしまったら、症状を抑えるために抗ヒスタミン剤などの内服薬やステロイドなどの点鼻薬を使います。アレルギー免疫療法(アレルギーエキスを低濃度から徐々に濃度を上げて投与することにより症状を軽くする方法は、従来の皮下注射による投与に加えて、舌下投与も可能となりました。また鼻粘膜をレーザーなどで焼く方法もあります。症状の種類や程度、年齢などにより治療法の選択や適応はさまざまですので、一度、耳鼻咽喉科で相談することをお勧めします。

吹田市医師会

赤城あかぎ

ゆかり